

貯水槽設置に伴うチェックシート

指定工事事業者 \_\_\_\_\_ 主任技術者名 \_\_\_\_\_

<設備情報>

お客様番号		施設名称	
主流入管口径	mm	ボールタップ口径	mm
		越流管口径	mm

<計測値及び吐水口空間の算出>

確認年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

計測値 (A) 天板-越流面	mm	写真管理	縦管は上端、横管は管の中心
計測値 (B) 天板-流入管吐水口	mm	写真管理	
近接壁からの水平距離 (a)	mm	-	
近接壁からの水平距離 (b)	mm	-	
<p>●吐水口から越流面の垂直距離 (A) _____ mm - (B) _____ mm = _____ mm</p> <p>●必要な吐水口空間 (表-1、表-2 より算出) = _____ mm 判定： 合 否</p>			
計測値 (C) 天板-ボールタップ吐水口	mm	写真管理	
近接壁からの水平距離 (a)	mm	-	
近接壁からの水平距離 (b)	mm	-	
<p>●吐水口から越流面の垂直距離 (A) _____ mm - (C) _____ mm = _____ mm</p> <p>●必要な吐水口空間 (表-1、表-2 より算出) = _____ mm 判定： 合 否</p>			

\*判定「否」の場合の措置

- 再施工 (施工内容： \_\_\_\_\_ )  
再度チェックシート記入 (写真管理含む) し提出すること。
- バキュームブレーカー設置  
製品のカタログと施工前後の写真を提出すること。

\*注) ボールタップや水位計等で制御している「満水面」は「越流面」ではありません。

\*波立ち防止の観点で吐水口が越流面以下に設置する場合、必ず「真空破壊孔 (φ10 以上)」を設けること  
また、真空破壊孔の位置は吐水口空間の基準と同様とする (要写真管理)

<参考資料>

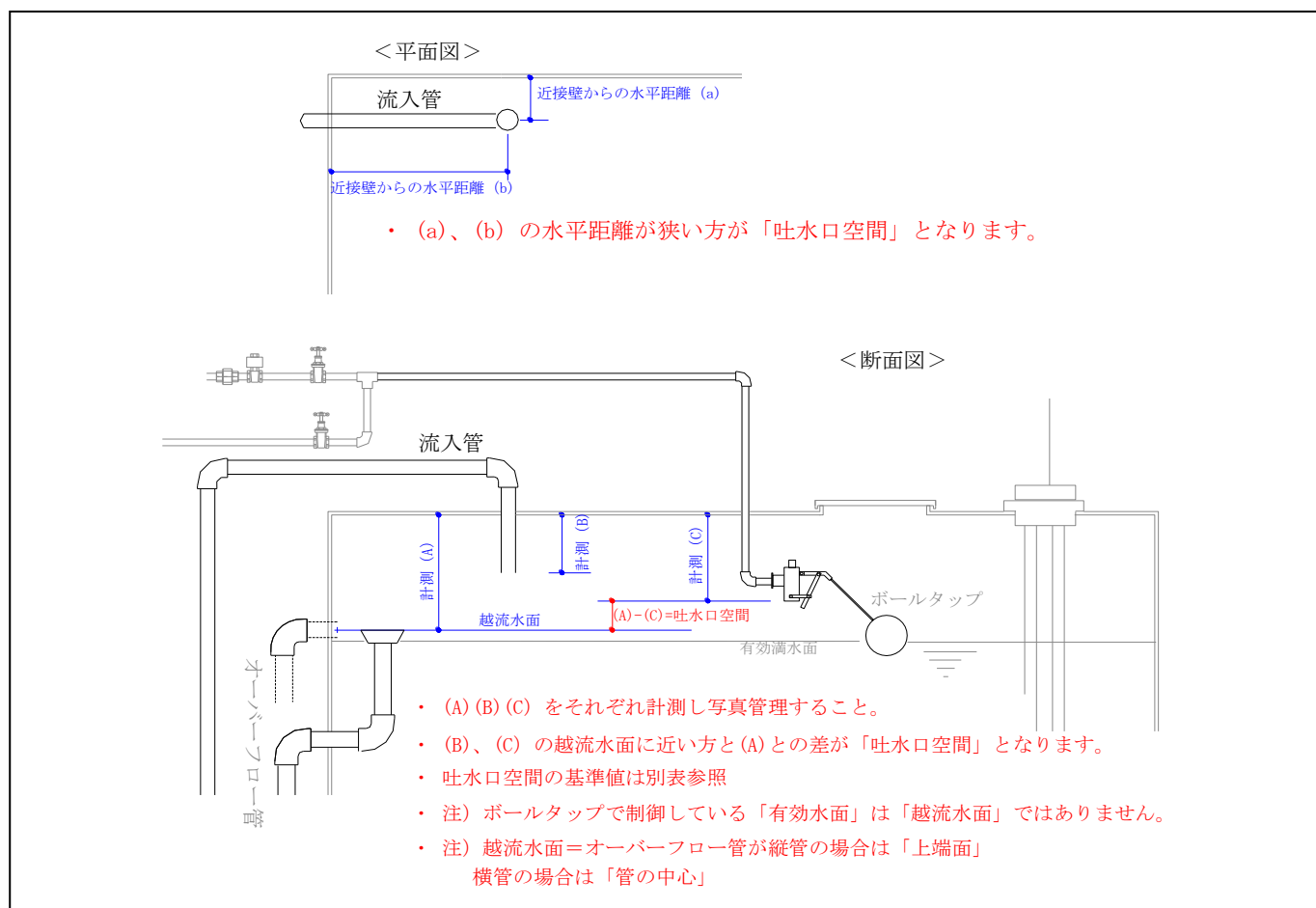


表-1 <呼び径 25 mm以下>

呼び径	近接壁から吐水口の水平距離(a)(b)の狭い方	越流面と吐水口の垂直距離
13 mm以下	25 mm以上	25 mm以上
20 mm以下	40 mm以上	40 mm以上
25 mm以下	50 mm以上	50 mm以上

表-2 <呼び径 25 mmを超える場合>

d=吐水口の内径

区分		壁からの離れ	越流面から吐水口の垂直距離
近接壁の影響が無い場合		—	1.7d+5 mm以上
近接壁の影響が有る場合	近接壁 1 面	3d 以下	3.0d 以上
		3d を超え 5d 以下	2.0d+5 mm以上
		5d を超えるもの	1.7d+5 mm以上
	近接壁 2 面	4d 以下	3.5d 以上
	4d を超え 6d 以下	3.0d 以上	
	6d を超え 7d 以下	2.0d+5 mm以上	
	7d を超えるもの	1.7d+5 mm以上	